

地域連携センター 2012.3 No.01

NEWS



特別講演会「生き直しの旅をつづけて」森崎和江さんと山本作兵衛さんの絵画

目次

CONTENTS

地域連携センター長・地域交流部門長挨拶	2
女性生涯学習研究部門長挨拶	2
産学官地域連携部門長挨拶	2
地域連携センター地域交流部門	3
地域連携センター産学官地域連携部門	6
地域連携センター 女性生涯学習研究部門	9
学術研究助成について	11
平成24年度公開講座のご案内	裏表紙



福岡女子大学
Fukuoka Women's University



地域連携センター長・地域交流部門長挨拶

「地域連携センター」発足に寄せて

吉 村 利 夫(福岡女子大学副学長・教授)

2011年4月から、福岡女子大学は大きく生まれ変わりました。平成24年度新入生から、それまでの文学部、人間環境学部の2学部体制から、国際文理学部の1学部体制になりました。国際的に活躍できる女性リーダーを育成することが教育の目標になったのです。すなわち「国際化」が新生・福岡女子大学のキーワードです。もう一つの重要なキーワードは「地域貢献」です。福岡女子大学の設置者は福岡県ですので、地元に貢献することは当然の使命と言えます。これまで、地域に貢献する学内組織としては、「女性生涯学習研究センター」と「産学官地域連携センター」があり、それぞれが活発な活動を行ってきました。2011年4月からは、これらを統合する組織として、「地域連携センター」が発足しました。これは、本冊子でご覧頂けますように「女性生涯学習研究部門」、「産学官地域連携部門」、そして「地域交流部門」の3部門から構成されています。「地域交流部門」は従来の本学にはなかった組織ですが、近隣の小中高校や大学、住民、自治体などとの関係を密にし、さまざまな形で皆様のお役に立つことを目的に作られました。併せて「地域連携班」という事務組織もできました。これまで本学は、やもすると少々敷居の高い印象があったかも知れません。しかし、これからは、皆様に広く愛され、お役に立てる福岡女子大学となるよう、教職員一丸となって努力する所存です。どうかご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。新生・福岡女子大学、そして地域連携センターに、ご期待ください！



女性生涯学習研究部門長挨拶

女性生涯学習研究部門への改組について

宮崎 聖子
(福岡女子大学准教授)



産学官地域連携部門長挨拶

地域の発展を目指した
産学官の連携

柳橋 泰生
(福岡女子大学教授)

女性生涯学習研究センターは、新生福岡女子大の誕生に足並みを合わせ、2011年4月に地域連携センターの一部門である女性生涯学習研究部門に改組されました。以来、1年になります。同窓会との連携を強化したことや、グローバル化やジェンダーの課題に対応した講演会を本部門で主催できたことは、小さくとも新たな一步でした。しかし女子大としての本学の位置づけから考えると、本部門が果たすべき課題はなお残されていると言えます。今後はより学内外の皆様に愛されるべく、新校舎が竣工した際には、資料の利用についても利便性を図っていく予定です。さらなる叱咤激励とご協力をお願い申し上げます。

大学の役割は次代を担う人材を育成することが第一ですが、新たな知見を生み出すこともそれと並んで重要です。産学官地域連携部門は、知的生産の主要な担い手である産・学・官が連携して研究等を進め、地域社会の発展に貢献することを目指しています。具体的には、今後の展開が期待される課題について産学官が連携してシンポジウム等を開催するとともに、大学での最新の研究を紹介する冊子を発行し、情報発信・交流を進めています。私自身は三十年近く環境省にて、産学官の連携により新しい廃棄物処理・リサイクル技術や大気汚染浄化技術、ダム貯水池水質改善技術、高性能電気自動車の開発にも携わりました。その経験を生かし、福岡女子大学が地域に大きな貢献ができるように努めたいと考えています。

地域連携センター地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にすると同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と地域のニーズのマッチング等の事業を展開することで、地域の活性化に寄与してまいります。

平成23年度の実績は次のとおりです。

1 出張講義

1 出張講義

(2012/2/1現在)

日付	高校名	学年	時間	受講者数	教員名	内 容
1 5月 27日	香住丘高校	全学年	90分	1071	和栗百恵	世界と出会うということ
2 6月 1日	香住丘高校	2学年	50分	20	田村典明	【SSH】実験Ⅲ・Ⅳの事前指導
3 6月 1日	香住丘高校	2学年	50分	20	馬 昌珍 佐藤一紀	【SSH】環境理学の研究概要と実験Ⅰ・Ⅱの事前指導
4 6月 29日	香住丘高校	2学年	50分	20	池田宣弘 黒木昌一	【SSH】実験Ⅲ・Ⅳの事前指導
5 6月 29日	香住丘高校	2学年	50分	20	小泉 修	【SSH】環境理学の研究概要と実験Ⅰ・Ⅱの事前指導
6 6月 30日	香住丘高校	2学年	50分	41	石川洋哉	学部の特色、授業内容、オープンキャンパス
7 7月 12日	小倉高校	2学年	90分	20	田村典明	【SSH】体験学習事前学習会
8 8月 18日	香住丘高校	2学年	100分	40	池田宣弘	【SSH】プレゼンテーション資料の作成
9 8月 19日	香住丘高校	2学年	100分	40	田村典明	【SSH】プレゼンテーション資料の作成
10 9月 7日	香住丘高校	2学年	100分	40	田村典明 黒木昌一	【SSH】研究結果発表検討会（発表と検討）
11 9月 28日	香住丘高校	2学年	100分	40	田村典明 池田宣弘	【SSH】ポスターセッション資料の作成
12 9月 28日	京都高校	1学年	90分	280	パスマシリ・ジャヤセーナ	国際社会における日本の役割
13 9月 29日	久留米信愛女子学院高校	2学年	90分	20	水元 芳	災害被害者の医療と栄養支援
14 9月 30日	熊本第一高校	全学年	120分	30	西田ひろ子	国際化と異文化コミュニケーション（@キャリアガイダンス「夢の架け橋」）
15 10月 19日	玄界高校	1学年 2学年	50分 50分	41 36	和栗百恵	「国際協力って」なんだろう 「イスラム教」を知ってみよう
16 10月 22日	福岡工業大学附属城東高校	1学年	60分	28	小泉 修	環境ホルモンを考える
17 10月 26日	香住丘高校	2学年	80分	40	田村典明	【SSH】キャリアアップ講座
18 10月 28日	筑紫女子学園高校	2学年	70分	14	月野文子	万葉のユーモア（諧謔）（@追夢講座）
19 10月 28日	筑紫女子学園高校	2学年	70分	44	パスマシリ・ジャヤセーナ	国際社会における日本の役割（@追夢講座）
20 11月 2日	新宮高校	2学年	100分	40	望月俊孝	哲学の道への誘い（@新宮総合大学）
21 11月 2日	新宮高校	2学年	100分	40	宮崎聖子	私たちと「ジェンダー」（@新宮総合大学）
22 11月 10日	福岡女子学院高校	1、2学年	80分	20	月野文子	万葉のユーモア（諧謔）
23 11月 10日	筑前高校	2学年	90分	30	金崎良三	スポーツと社会について考える
24 11月 11日	糸島高校	2学年	60分	30	石川洋哉	食品の働きを考える
25 11月 14日	春日高校	2学年	105分	10	高橋 徹	福岡女子大学の食・栄養学科について
26 12月 3日	久留米高校	1学年 2学年	60分 60分	14 14	石川洋哉	栄養学講座「食品の働きを考える」
27 12月 6日	小倉西高校	2学年	70分	233	和栗百恵	国際理解と進路について
28 12月 15日	福岡中央高校	2学年	60分	22	和栗百恵	大学で学ぶことについて他
29 3月 6日	中村学園女子高校	1、2学年	60分	40	吉村利夫	紙おむつを化学の目で見る

2 訪問受入

日付	高校名	学年	時間	人数	教員名	内 容
1 6月 8日	香住丘高校	2学年	100分	20	田村典明 大坪蘭子	【SSH】自然環境における多様な生体防御の仕組み（2）-1
2 6月 8日	香住丘高校	2学年	100分	20	馬 昌珍	【SSH】地球温暖化モデル実験
3 6月 22日	香住丘高校	2学年	100分	20	田村典明 大坪蘭子	【SSH】自然環境における多様な生体防御の仕組み（2）-2
4 6月 22日	香住丘高校	2学年	100分	20	佐藤一紀	【SSH】生命と環境における化学物質の機能
5 7月 6日	香住丘高校	2学年	100分	20	池田宣弘	【SSH】河川や内湾の富栄養化に関する分析実験
6 7月 6日	香住丘高校	2学年	100分	20	小泉 修 美濃部純子	【SSH】自然環境における多様な生体防御の仕組み（1）-1
7 7月 13日	香住丘高校	2学年	100分	20	黒木昌一	【SSH】フラクタルな図形の次元を計る
8 7月 13日	香住丘高校	2学年	100分	20	小泉 修 美濃部純子	【SSH】自然環境における多様な生体防御の仕組み（2）-2
9 8月 2日	小倉高校	2学年	1日	21	田村典明	【SSH】体験学習
10 1月 24日	博多女子高校	2学年	50分	24	和栗百恵	カキがあるの取り組みについて学ぶ

3 その他

日付	学校名	学年	時間	人数	教員名	内 容
1 7月 8日	福岡教育大学附属福岡中学校	3学年	90分	3	濱田 俊 片桐義範 石川洋哉	総合的な学習の時間（福岡女子大学で受け入れ） ・コーヒーの成分が人体に及ぼす影響について ・熱を下げる効果のある食材について 他
2 9月 10日	香椎第二中学校	全学年	50分	30	今井 明	社会人講話へ講師派遣
3 9月 13日	古賀東中学校	3学年	300分	11	片桐義範 石川洋哉 小林弘司	食・健康学科における取り組み 他 (福岡女子大学で受け入れ)
4 1月 31日	香椎第三中学校	1学年	60分	5	藤岡留美子	リサイクルでできた服（福岡女子大学で受け入れ）

2 特別講演会「巨大地震とメディア」

日 時 5月13日(金) 16:20～17:50
場 所 福岡女子大学 大学会館大ホール
講 師 三浦 元 氏(元NHK福岡放送局長)
参加者 111名(学生74名、教職員15名、一般22名)



3 鈴木章先生2010年ノーベル化学賞受賞記念講演会 「ノーベル化学賞を受賞して～未来を開く化学～」

日 時 2月23日(木) 16:00～18:00
場 所 福岡国際ホール 大ホール (福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞会館16階)
講 師 北海道大学 鈴木 章名誉教授
対 象 高校生、大学生、一般社会人
定 員 700名
主 催 福岡女子大学、九州大学、(株)西日本新聞社
共 催 九州産業大学、西南学院大学、中村学園大学、福岡工業大学、福岡歯科大学、福岡大学
後 援 福岡県、福岡市、福岡県教育委員会



4 教員免許更新講習

教員免許更新制の免許状更新講習として、文部科学大臣の認定を受けて、選択の2科目(理科、国語)について、次とおり開設しました。(参加者88名)

【理 科】 9:00～16:40(6限) 多目的ホールにて

日 程	タ イ プ	担当講師
8月17日(水)	生命とそれをめぐる環境に関するサイエンス (1)閉鎖性内湾の環境科学	山田真知子(福岡女子大学人間環境学部教授) 池田 宜弘(福岡女子大学人間環境学部教授)
8月18日(木)	生命とそれをめぐる環境に関するサイエンス (2)生命環境の科学	小泉 修(福岡女子大学人間環境学部教授) 田村 典明(福岡女子大学人間環境学部教授)
8月19日(金)	生命とそれをめぐる環境に関するサイエンス (3)化学物質と環境	馬 昌珍(福岡女子大学人間環境学部准教授) 佐藤 一紀(福岡女子大学人間環境学部教授)

【国 語】 9:00～16:40(6限) セミナー室にて

日 程	タ イ プ	担当講師
8月22日(月)	境界を超える「ことば」と「文学」	石井 和夫(福岡女子大学文学部教授) 今井 明(福岡女子大学文学部教授)
8月23日(火)	「国語」教材への視点	大久保順子(福岡女子大学文学部准教授) 工藤 重矩(福岡女子大学文学部客員教授)
8月24日(水)	「国語」教材の講読Ⅰ	坂本 浩一(福岡女子大学文学部准教授) 月野 文子(福岡女子大学文学部教授)
8月25日(木)	「国語」教材の講読Ⅱ	橋本 直幸(福岡女子大学文学部講師) 矢野 準(福岡女子大学文学部教授)

5 留学生との交流会 (ニューアイザーズパーティ)

日 時 1月26日(木) 18:30～20:00
場 所 福岡女子大学生活協同組合食堂
参加者 約235名(同窓会・香住丘地区・香椎地区等の方々 24名、他教職員、学生)
内 容 学生と留学生の企画によるWJC-studentsの劇(ラーメン侍)、自己紹介ビンゴ他
 ※福岡女子大学国際化推進センターと共催



6 高校生のためのイングリッシュキャンプ

期 間 8月19日(金)～21日(日) 2泊3日

場 所 福岡女子大学（国際学友寮 なでしこに宿泊）

参加者 高校1、2年生の女子18名（福岡10、長崎4、熊本1、大分1、宮崎1、鹿児島1）

参加費 3,000円

講 師 学術英語プログラム（AEP : Academic English Program）講師

内 容

- ・すべて英語による全10コマの授業を行い、参加者が6グループに分かれ、留学生へのインタビューをもとに、興味のある国とトピックを決め、プレゼンテーション資料作りを行いました。
- ・最終日に、グループ毎に英語によるポスタープrezentationを行い、閉講式では、優れたグループを表彰し、全員に修了証を授与しました。
- ・参加した高校生は、留学生と共に「国際学友寮 なでしこ」大広間に宿泊し、寮見学や留学生の母国（タイ、インドネシア、韓国）の料理作りなど、留学生との交流を楽しみました。

学生の協力

・授業のアシスタントや料理作り等で、WJC留学生及びJD-Matesの参加を得ました。

特に、留学生には、メニューの企画、食材選びに積極的に関わってもらいました。

※WJC (The World of Japanese Contemporary Culture Program : 短期留学生受け入れプログラム)

※JD-Mates(Jyoshi-Dai-Mates : 留学生等との交流に積極的に関わる日本人学生)



7 西日本新聞社との連携協定締結

10月3日（月）、「地域の教育及び地域社会の充実・発展に寄与すること」を目的として、西日本新聞社との連携協力に関する協定書を締結しました。

福岡女子大学、西日本新聞社ともに地域社会への貢献を使命としており、お互い連携の有効性を認識したことから、協定の締結に至ったものです。

この協定締結を受け、学生の教育や地域貢献等、幅広い分野で連携協力してまいります。



8 施設見学会

10月12日（水）、「福岡女子大学施設見学会」（福岡市東区主催）が開催され、東区内の自治協議会や公民館の役員の方々約30名にお越しいただきました。主催者である福岡市東区役所の古藤企画振興課長からご挨拶をいただいた後、本学の甲斐副学長から地域交流を積極的に進めていく旨の挨拶がありました。次に、大学概要説明の後、学内の各施設を見学していただきました。

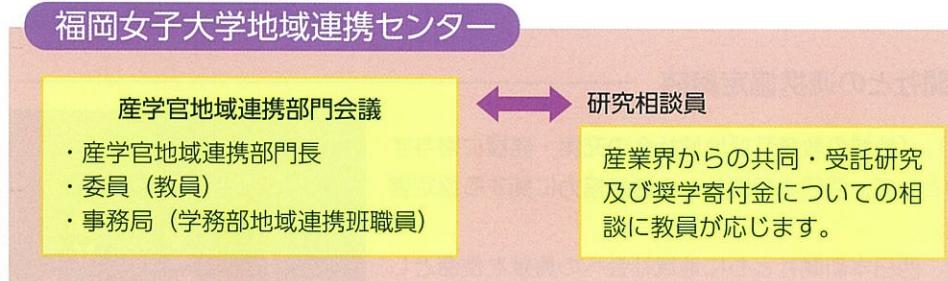
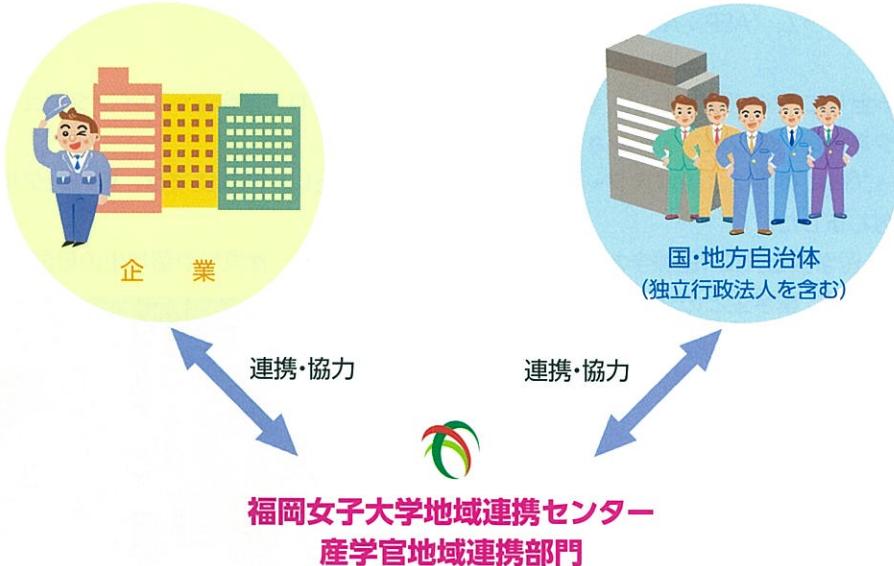
D棟での学術英語プログラム（AEP : Academic English Program）（1クラス15名×5クラス）の授業見学の後、B棟では、各研究室における説明に加え、実験の現場、調理実習室を、「国際学友寮 なでしこ」では、1階の共用部分（大広間、キッチン）などを見学いただきました。

最後に、視聴覚室にて本日開催の秋季公開講座「食べる・生きる・楽しむ」にご案内し、ご希望の方には、体験で講座を受講していただきました。



地域連携センター産学官地域連携部門

福岡女子大学地域連携センター産学官地域連携部門は、大学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献するため、企業や公的機関との共同研究のサポートや、各種セミナー、技術交流会などの実施によって、産学官連携を推進します。また、一方で、地域企業等からの研究に関連した相談の窓口となっています。



1. 共同研究、情報交換の推進

- ・共同研究・受託研究の契約締結サポート
- ・産学官技術交流会の開催
- ・産学官地域連携連携セミナーの開催

2. 広報活動

- ・研究者情報誌の発行
- ・各種展示会への出展

3. 知的財産管理

- ・知的財産に関するセミナーの開催

研究支援できる分野の例

- 物質科学及び生命科学を基礎とする環境分析・リサイクル技術等に関する研究分野
- 動植物の環境中における生息や発育・生体内反応・バイオテクノロジー等に関する研究分野
- インターネットや情報処理技術に関する研究分野
- 健康維持・健康づくりに関する栄養学・食品学・スポーツ選手の健康管理に関する研究分野
- 衣・住環境における衛生管理や光・照明を用いた生活空間の改善に関する研究分野
- 気体分離用無機膜に関する研究、マイクロ化デバイスを用いた触媒反応プロセスの開発
- 高分子材料の設計・物性・利用に関する研究分野
- 意匠学・色彩学あるいはデザイン手法等に関する研究分野

今年度開催した講演会・セミナー

①「環境白書を読む会」6月23日(木) 福岡女子大学視聴覚室にて開催

<講師>澤 邦之氏 (環境省総合環境政策局環境計画課課長補佐)

参加者総数 62名 (学生35名、教職員17名、市民10名)

「地球との共生に向けた知恵・規範・行動～暮らしの中からヒントを見つける～」をテーマとして循環型社会の構築が重要であることを学びました。



②「赤ちゃん・子どもの食と健康」10月14日(金) 福岡ビジネス創造センターにて開催

<講師>上野佳代子氏 (福岡病院栄養管理室管理栄養士)

小田 邦子氏 (キューピー株式会社研究所 健康機能R&Dセンター研究員)

参加者総数 90名 (学生80名、教職員4名、市民6名)

上野講師「赤ちゃんと子どものための食物アレルギー食」

小田講師「離乳食とベビーフード～安全・安心をお届けするために」と題して赤ちゃん・子どもをすくすく元気に育てるための注意点等を解説して頂きました。



③第9回技術交流会「世界に羽ばたく福岡方式のごみ処理」11月24日(木) 福岡女子大学会館にて開催

<講師>松藤 康司氏 (福岡大学工学部 社会デザイン工学科 教授)

田中 綾子氏 (福岡大学大学院工学研究科 教授)

真次 寛氏 (福岡市環境局施設部 部長)

鮎川 将氏 (JFEエンジニアリング(株)環境プラント事業部 部長代理)

参加者総数 113名 (学生32名、教職員16名、市民65名)

準好気性埋立構造(福岡方式)を用いた埋立技術が環境改善に有効であり、その成果と展望をご紹介いただきました。



④シーズ発表会参加 1月20日(金) 博多座・西銀ビル13階

<講師>伊藤 海織氏 (福岡女子大学人間環境学部講師)

「型紙を人体上の曲線に貼りつけたときの形の予測」をテーマに開発中の人体曲線の研究を紹介して頂きました。



⑤知的財産権セミナー 2月28日(火) 福岡女子大学視聴覚室にて開催

<講師>後藤 道子氏 (九州大学大学院法学研究院協力研究員、メディアリサーチャー)

「教育現場での著作権」をテーマに様々な事例を交えながら講演していただきました。

参加者総数 55名 (教職員54名、市民1名)



「研究者のフォト研究紹介2011」9月発行

産業官連携を推進する教員の研究紹介フォト誌を発行しました。

「福岡女子大学教員データブック」3月発行

教員の基本的情報(略歴等)から研究テーマ、研究概要に至るまで掲載した教員データブックを発行しました。

「エコテクノ2011」参加 10月12日(水)、13日(木)、14日(金) 西日本総合展示場新館にて

地球環境・新エネルギー技術展にブース出展 来場者64名

地球環境時代にふさわしい環境保全・エネルギー技術を展示し、環境技術交流の促進・環境意識の高揚を目的に出展しました。

- 研究費情勢情報 ホームページ掲載件数 58件
- 受託研究 8件 17,071,190円
- 共同研究 4件 1,200,000円
- 奨学寄附金 7件 6,158,912円



他機関との連携協定

①福岡県保健環境研究所

協定期間 平成23年7月13日～平成28年7月12日

県内の保健衛生及び環境保全に関する調査研究の高度化並びに活性化を目的として協定を更新しました。

②東部地域大学

協定期間 平成23年11月9日～平成28年11月8日

福岡女子大学、九州産業大学及び福岡工業大学

教育・研究活動全般における交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的として締結しました。

「地域と共に発展する大学を目指す」のスローガンのもと、各大学の特色を活かしつつ、地域のニーズに即した取組みをしていきます。



③国立病院機構九州医療センター

協定期間 平成23年12月21日～平成28年12月20日

教育・研修・研究交流を促進することにより、福岡県における医療職の人材育成と地域医療の充実及び健康づくりに寄与することを目的として締結しました。

高度総合医療施設と国公私立大学の管理栄養士養成施設との全国初の連携協定締結となります。

本学大学院生対象の臨床栄養師養成のための研修に九州医療センターに研修施設としてご協力いただきます。



地域連携センター 女性生涯学習研究部門

福岡女子大学地域連携センター女性生涯学習研究部門は、女性の地位向上のために「国際婦人の十年」最終年の1985年に設立された女性生涯教育資料室を前身としています。その後1997年4月に生涯学習研究センターと改称し、地域の生涯学習に広く寄与してまいりました。2006年4月の本学法人化にともない、センターの性格をより鮮明にするために「女性」を加え、女性生涯学習研究センター、2011年に地域連携センター女性生涯学習研究部門へと改称いたしました。

平成23年度公開講座・講演会実績一覧

事業 名称	テーマ（実施日）	講座数	延べ 実施日数	延べ 受講者数
土曜公開講座	「外国人が見る日本の文化—国際化と異文化理解—」(5/14～2/11) ①5月14日（土）「在独トルコ人ードイツとトルコの間にゆれるアイデンティティー」 S. ホルスト（福岡女子大学准教授） ②6月11日（土）「異なる国や地域での対日感情と異文化理解 一東南アジア、アフリカ、大洋州滞在の経験滞在の経験からー」水元 芳（福岡女子大学准教授） ③7月9日（土）「大学教育における「海外体験学習」の可能性 一福岡女子大学の事例からー」 和栗 百恵（福岡女子大学准教授） ④8月13日（土）「日本文学のカノン形成と異文化摂取」今井 明（福岡女子大学教授） ⑤9月10日（土）「漱石とカントーその世界市民的批評眼一」望月 俊孝（福岡女子大学教授） ⑥10月8日（土）「韓国における儒教思想と国際化」馬 昌珍（福岡女子大学准教授） ⑦11月12日（土）「文化で見る日本と中国」張 鼎（福岡女子大学准教授） ⑧12月10日（土）「音楽と政治—ナチ時代の音楽と政治をめぐる断章一」吉田 信（福岡女子大学准教授） ⑨1月14日（土）「グローバル化と女性の移動」宮崎 聖子（福岡女子大学准教授） ⑩2月11日（土）「国際化と異文化間コミュニケーション」西田 ひろ子（福岡女子大学教授）	10	10	400
春季公開講座	「脳と加齢—認知症を考えるー」(6/10～6/24) ①6月10日（金）「弱きもの、汝の名は神経細胞」濱田 俊（福岡女子大学教授） ②6月10日（金）「加齢にともなう記憶の変化—忘れる記憶と忘れない記憶ー」 山口 快生（福岡女子大学教授） ③6月17日（金）「生命科学から脳、認知症を考える」小泉 修（福岡女子大学教授） ④6月17日（金）「お年寄りの心に寄り添って…」山本 美由紀（パリデーション・ワーカー） ⑤6月24日（金）「らくらく介護のススメ」坂口 久美子（薬剤師） ⑥6月24日（金）「脳科学からボケない長寿者を診る—ボケない生き方ー」 山口 快生（福岡女子大学教授）	6	3	608
秋季公開講座	「食べる・生きる・楽しむ—健康に生きる秘訣とはー」(10/5、10/12、10/19) ①10月5日（水）「食品の安心と安全」小林 弘司（福岡女子大学講師） ②10月5日（水）「食品成分の働きと健康」石川 洋哉（福岡女子大学准教授） ③10月12日（水）「医療機関における栄養療法について」中村 強（福岡女子大学教授） ④10月12日（水）「子どもたちのすこやかな成長のためにー東ティモールを事例としてー」 水元 芳（福岡女子大学准教授） ⑤10月19日（水）「農産物の安全・安心ーあなたは有機栽培派？植物工場派？」 新開 章司（福岡女子大学准教授） ⑥10月19日（水）「消化と吸収について」高橋 徹（福岡女子大学准教授）	6	3	232
自由企画講座	「市民を対象にした文学講座 ー中島敦の全小説を読むー」(4/8～12/23) 講師 石井 和夫（福岡女子大学教授）	15	15	467
	「キーワードから理解するオランダ」(11/2、11/9、11/16) 講師 吉田 信（福岡女子大学准教授）	3	3	69
	「日独交流 150周年記念特別講演会ー日独交流を考えるー」(11/11、11/18、11/25、12/2) ①11月11日（金）「日独文化交流の始めー日本からドイツへー」S. ホルスト（福岡女子大学准教授） ②11月18日（金）「今フンボルトの理念をどう受け継ぐのか」森 邦昭（福岡女子大学教授） ③11月25日（金）「ブルーノ・タウトと桂離宮」望月 俊孝（福岡女子大学教授） ④12月2日（金）「日独関係の将来」S. ホルスト&学生・ドイツ人留学生数名	4	4	136
	「名人の芸を味わう」(12/7) 講師 吉田 信（福岡女子大学准教授）	1	1	33
特別 催 講 演 会	「環境問題について学ぶ」(11/5) ①「水道水は安全か？」柳橋 泰生（福岡女子大学教授） ②「PCB（ポリ塩素化ビフェニル）の処理について」野馬 幸生（福岡女子大学教授）	2	1	45
特別 講 演 会	「日本の100年プロジェクト ー貴女の生きかたが100年後の日本を支える息吹となるようにー」(12/1) 講師 宮原 富士子氏（株式会社ジェンダーメディカルリサーチ代表取締役社長）	1	1	27
特別 講 演 会	「生き直しの旅をつづけて」(1/11) 講師 森崎 和江氏（詩人、ノンフィクション作家、福岡女子大学OG）	1	1	187
合計		49	42	2204

■ 人財バンクについて

女性生涯学習研究部門では、学外（他機関）への本学教員の講師派遣の情報提供を行っております。本学にはさまざまな分野の教員があり、公民館のセミナーや学校へ講師として出張しています。この機会に是非ご活用下さい。

講師への橋渡しなどにつきましては、女性生涯学習研究部門までご一報下さい！本年度利用実績は7件です。



■ 一般女性のための生涯学習用おすすめ科目(授業開放)

福岡女子大学ではリカレント教育として、授業開放を実施しています。

※女子大生に混ざって授業を受けるため、女性に限ります。

○科目履修生制度

本学では特定の科目について履修を認定する制度を実施しています。履修した科目的試験を受けて合格すれば、大学の正規の単位を修得することができます。

料金…1単位につき14,800円

○聴講生制度

本学では特定の科目について聴講を認める制度を実施しています。

単位認定が必要のない方には、是非興味のある科目について、この制度を利用した聴講をおすすめします。

料金…1科目・1学期につき14,800円

まずはご相談ください。



■ 地域連携センター 女性生涯学習研究部門の図書について

女性学や生涯学習関連の図書・資料を閲覧したい！

【利用資格】

- 本学学生、教職員（貸出可）
- 附属図書館の公開に関する要項に基づき、附属図書館の入館手続きを行った方。初回手続き時に運転免許証などの身分証明書が必要です。（閲覧のみ可）
- 女性生涯学習研究部門長の許可を得た学外の研究者、学習者（閲覧のみ可）

【蔵書数】

図書 約6,000冊

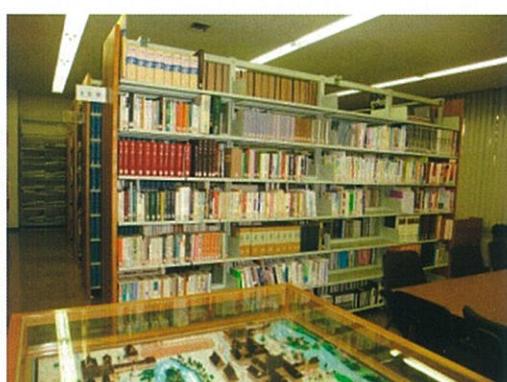
公開講座録音テープ 約200本

蔵書検索は附属図書館の図書検索（下記参照）で行えます。

所在が「生涯学習研究センター」のものを所蔵しています。

皆様是非お越し下さい！

<http://www.lib.fwu.ac.jp/index.html>



学術研究助成について

女性生涯学習研究部門では本学の卒業生や学生による生涯学習及び女性に関する研究に1件につき5万円の学術助成金を交付しています。また、修士2年で学科の推薦を受けた方に対しても3万円（計5名）の助成金を交付しています。毎年5月末頃募集締切です。ご応募についてはお気軽にご相談下さい。

.....今年度の交付について.....

【公募枠研究助成】

本学学生及び卒業生から、5件の申請がありました。審査の結果、下記の3件の研究に交付することになりましたので、ここに報告します。

濱田香世子さん（平成4年福岡女子大学家政学部卒業）
「刺胞動物ヒドロの形態形成におけるTSRドメインタンパク質の役割」

白石 陽子さん（平成6年福岡女子大学家政学部卒業）
「福岡におけるオートクチュール技術の継承と発展を目指して」

國崎 倫さん（平成23年福岡女子大学英文学専攻博士後期課程単位習得）
「0（ゼロ）からの脱出—エリザベス朝からジェイムズ朝へと変化する女性性の描写—」

【推薦枠研究助成】

本学大学院修士博士前期課程2年次の学生について、各専攻から下記の4件推薦がありました。審査の結果、下記の学生に交付することとなりましたので、ここに報告します。（国文学専攻の学生は在籍者なしのため交付はありません）

都地沙央里さん（本学文学研究科英文学専攻）
「初期印刷本期における『きつね物語』の編集と本文派生」

劉 景璋さん（本学人間環境学研究科生活環境学専攻）
「中国と日本における小・中・高生の生活スタイルと睡眠実態の比較と考察」

本田 祥子さん（本学人間環境学研究科環境理学専攻）
「ヒドロの神経系の化学解剖学」

山根いぶきさん（本学人間環境学研究科栄養健康科学専攻）
「哺乳類における新規生理活性ペプチドの探索」

公募枠研究助成交付者からのメッセージ

濱田 香世子さん（平成4年福岡女子大学家政学部卒業）

私は、平成4年に本学を卒業し、他大学で学位取得後、国立生理学研究所等で研究を行ってきました。その後、出産育児のため、研究から離れておりましたが、3年前から本学の学術研究員として研究を再開しました。今回助成していただいた研究は、卒業研究で扱ったヒドロを用い、学生時代とは異なる視点から研究するものです。

ヒドロは口の近くに体の形作りの命令をだすセンターをもっています。このセンターで使われる遺伝子を同定するという作業を進めたところ、TSRドメインという構造を持つタンパク質群が非常に多く出現することを発見しました。私はこのタンパク質群がヒドロの形作りに関与しているのではないかと考え、本研究では、このタンパク質群の遺伝子が、いつどこで使われているのか検討しました。また、遺伝子操作技術を用いて、これらの遺伝子がヒドロの形作りにどのように作用するのか検討を進めています。本研究では高価な試薬を使用しますので、本助成は大変な助けとなりました。心より御礼を申し上げます。

平成24年度公開講座のご案内

「達者で長生き－運動・スポーツと健康づくり－」

受講料2,000円（全3回分）（高校生、本学学生無料） 10：30～12：00

回	日 程	テ　ー　マ	講　師
1	5月26日(土)	「長寿社会と健康づくり」	金崎 良三（福岡女子大学特任教授）
2	6月 2 日(土)	「運動・スポーツとどう関わるか」	金崎 良三（福岡女子大学特任教授）
3	6月 9 日(土)	「自分でできる健康づくりのための運動」※実技指導を行います。	金崎 良三（福岡女子大学特任教授）

「人と人とのつながり－九州・福岡のことばと歴史－」

受講料2,000円（全6回分）（高校生、本学学生無料） 13：30～16：15

回	日 程	テ　ー　マ	講　師
1	6月16日(土)	「『あの世』と『この世』の関係史－中世日本に生きた人々と死者とのつながり－」	渡邊 俊（福岡女子大学講師）
		「ふるさとのことばと文化－九州・福岡の言語文化とその歴史をみつめる－」	坂本 浩一（福岡女子大学准教授）
2	6月23日(土)	「漢詩人の文化活動と交流」	月野 文子（福岡女子大学教授）
		「敬語表現の変化から見た人間関係の実態－待遇表現と文化とのかかわり－」	矢野 準（福岡女子大学教授）
3	6月30日(土)	「文学にみる『名所』のはたらき」	大久保順子（福岡女子大学准教授）
		「町の景色から読み解く多言語・多文化社会－福岡の言語景観－」	橋本 直幸（福岡女子大学講師）

「グローバル化時代の国際安全保障－台頭するインド・中国－」

受講料無料 13：30～15：00

回	日 程	テ　ー　マ	講　師
1	7月21日(土)	「中国の成長をどう捉えるか？－国際安全保障の視点から－」	パスマシリ・ジャヤセーナ（福岡女子大学准教授）
2	7月28日(土)	「台頭する世界最大民主国家インド－日本の再生とアジアの安全保障への力が気になるのか－」	パスマシリ・ジャヤセーナ（福岡女子大学准教授）

「必勝TOEIC！みるみる英語力アップ講座」対象：初心者特にTOEIC400～500点前後

※先着35名 受講料3,000円（全8回分）（高校生、本学学生無料）※受講にあたり、2,000円程度のテキストを用意・購入していただきます。

8/5（日）から9/23（日）までの毎週日曜日13：30～15：00

講師 石田 由希（福岡女子大学非常勤講師）

「武者の世を切り開いた平清盛－史学・文学からの考察－」

受講料2,000円（全5回分）（高校生、本学学生無料） 13：30～15：00

回	日 稲	テ　ー　マ	講　師
1	11月10日(土)	「平氏政権とはいかなる性格のものか？－武家政権誕生への道のり－」	渡邊 俊（福岡女子大学講師）
2	11月17日(土)	「平氏の滅亡と祈り－政治と鎮魂との関係－」	渡邊 俊（福岡女子大学講師）
3	11月24日(土)	「平家文化圏を考える1」	今井 明（福岡女子大学教授）
4	12月 1 日(土)	「平家文化圏を考える2」	今井 明（福岡女子大学教授）
5	12月 8 日(土)	「天草版平家物語を読み解く」	坂本 浩一（福岡女子大学准教授）

「中国人講師による現代中国講座」

受講料無料 13：00～14：30

回	日 稲	テ　ー　マ	講　師
1	11月15日(木)	「中国現代文学と九州－郭沫若の例を中心－」	武 継平（福岡女子大学教授）
2	11月22日(木)	「中国の人口政策とその問題点」	尹 豪（福岡女子大学教授）
3	11月29日(木)	「グローバル化時代における中国経済」	張 艷（福岡女子大学准教授）

※他にも特別講演会が開催される予定です。

○受講方法○

- ハガキ、FAX、E-mailにて受講講座名、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢、職業（高校生は学校名と学年）を記入の上、右記までお申し込みください。電話でのお申し込みも受け付けております。受講票の発送はいたしません。
- 男女・年齢を問わず受講可能です。
- 台風などの悪天候等で、講座の日時・講師が変更になる場合があります。詳細はセンターまでお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
- 受講料は初回受講時に、受付で徴収させていただきます。
- ご提供いただいた個人情報につきましては、公開講座等の実施・運営、本センターからの公開講座等のご案内に使わせていただき、他の目的には使用いたしません。

【お知らせ】

- 乳幼児と共にご参加の方は本センター職員までお問合せください。近隣の一時託児所の情報をご提供いたします。
- 福岡女子大学では、学外への本学教員の講師派遣の際の情報提供を目的とした「地域連携センター 女性生涯学習研究部門人財バンク」を開設しています。リストなどの詳しい情報はホームページをご覧ください。

【発行所】

福岡女子大学 地域連携センター 女性生涯学習研究部門
〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1
TEL/FAX : 092-661-2728 (直通)
TEL : 092-661-2411 (代表)
FAX : 092-661-2420 (代表)
E-mail : rcle@fwu.ac.jp
メールのQRコード→
URL : <http://www.fwu.ac.jp/rclc/>

